

危険物施設の対応タイムラインに対応したフローチャートの活用

チェックリスト(例) 一製造所				
フェーズ	漏水・高濃対策	土砂対策	地漏対策	停電対策
危険ドラッグ 対策	<ul style="list-style-type: none"> 危険のハザードマップを参照し、当該施設が漏水発生区域や土砂災害警戒区域に入っているかどうかや、周囲や施設内へ漏水が及ぶかを把握する。また、ハザードマップが更新された場合には、当該施設に係る最新の情報を確認する。 漏水発生区域に該当する場合は、漏定される設備と漏水風、避難を確認する。 			
計画等の策定	<ul style="list-style-type: none"> 大雨や土砂の流出に伴い、被害の発生が想定される場合には、被害発生時の危険性を把握・軽減するために必要な措置を検討し、計画を策定する。 計画策定の際には、土砂災害防止法、国土交通省の「土砂災害防止計画の作成ガイドライン」等を参考に、緊急時や非常時の対応策を決定する。 計画策定の際には、避難経路の確保や避難場所の確保を決定する。 危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 緊急時の対応策を決定する。また、土砂災害防止法に基づき、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 緊急時の対応策を決定する。また、土砂災害防止法に基づき、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 			
対策の実施	<ul style="list-style-type: none"> 漏水発生時の対応策を決定する。また、土砂災害防止法に基づき、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 緊急時の対応策を決定する。また、土砂災害防止法に基づき、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 緊急時の対応策を決定する。また、土砂災害防止法に基づき、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 			
風水害の危険性が高まった場合の対応	<ul style="list-style-type: none"> 危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 緊急時の対応策を決定する。また、土砂災害防止法に基づき、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 緊急時の対応策を決定する。また、土砂災害防止法に基づき、危険物の搬入・搬出の時期や経路の変更等の計画を策定する。 			
天候回復後の点検・確認	<ul style="list-style-type: none"> 高濃を洗い、必要な措置を講じた上で再稼働を行うこと。 漏水した施設では、内漏状況や止水状態を確認する。 漏水した施設では、内漏状況や止水状態を確認する。 漏水した施設では、内漏状況や止水状態を確認する。 			

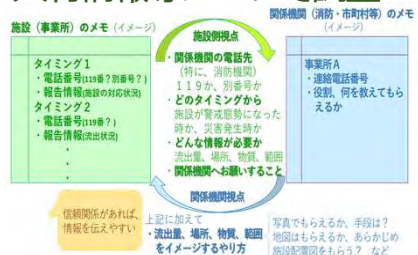
平時からの備え

風水害の危険性が高まった場合の応急対策 [警戒～取得した情報から対策に移行する段階]

- チェックリストは、危険物施設の区分ごとの留意点を重視
- フローチャートは、タイムラインに沿って実施する項目を重視
- チェックリスト確認しながら、フローチャートを作成することで各事業所で実効性のある手順、マニュアルが完成するイメージ
- フローチャートの作成の中で、市町村・消防本部等との情報共有も合わせて調整する

風水害に伴う危険物の流出や火災が発生した場合の応急対策 [被害拡大の防止・軽減]

事業者と市町村・消防本部等と情報連絡のタイミングや共有情報等について調整



平時からの備え

風水害の危険性が高まった場合の応急対策

風水害に伴う危険物の流出や火災が発生した場合の応急対策